

発行： NPO 法人ワークセンターいちい どんぐり工房
(ホームページ) <http://www.ob2.aitai.ne.jp/~donnguri/>

編集：佐藤礼佳 令和3年8月

(Eメール) ichii-06@ob3.aitai.ne.jp

- | | | |
|-----------|-----------------------------------|--|
| ・どんぐり工房 | 瑞浪市陶町水上 669 番地の 1
〒509-6362 | ☎0572-62-1230 Fax0572-62-1231
(Eメール) donnguri@ob2.aitai.ne.jp |
| ・第2どんぐり工房 | 瑞浪市寺河戸町 1087 番地の 1
〒509-6121 | ☎0572-56-1130 Fax0572-56-1131
(Eメール) donnguri@iaa.itkeeper.ne.jp |
| ・わごうホーム | 瑞浪市薬師町 2 丁目 34 番地の 1
〒509-6135 | ☎・Fax 0572-67-5571
(Eメール) wagou2018@ob.aitai.ne.jp |
| ・学園台ホーム | 瑞浪市学園台 2 丁目 13 番地の 6
〒509-6106 | ☎・Fax 0572-51-2809 |

どんぐり工房だより 夏号

第2どんぐり工房生活介護 取り組みの紹介 ～令和3年度上半期～

早いもので令和3年度に入り5カ月が経とうとしています。昨年度から続く新型コロナウイルス感染症についてはまだ心配が付きませんが、ワクチンの接種が始まり少しずつ昨年度とは違った変化が見られるようになりました。少しずつでも安心して生活できる世の中になるよう祈っています。

さて、昨年度からなかなか外出や行事もできない日々が続いていますが、そんな中でも何か楽しみを…と、4月から色々な取り組みをしてきました。ここで第2どんぐり工房の日常を少し紹介したいと思います。

5月から館内でミニトマトの栽培を始めました。現在育てているのは2種類のミニトマトです。買い物実習で苗や備品を購入し、館内でプランターに砕いた発砲スチロールと土を入れ苗を植えました。そしてただ植えるのではなく、どのように育っていくのか経過を記録するため“どんぐり菜園 観察日誌”を毎日つけてきました。「みんなに野菜が育つ所を経験させてあげたい」という支援員のアイデアが始まりのきっかけでした。成長を見守り、水やりをし、肥料をあげ、時には屋外までせつせと運び日光に当て、毎日の変化を日誌に記録することで、愛着が沸きお世話する事を楽しみにしたり、トマトの実がなり色づく様子を知る事ができとても良い経験となりました。中には気になって葉っぱを千切ってしまったり、観察する際に思わず触ろうとしたりすることもありましたが、その時には朝の会や帰りの会で「大切にすること」についてお話をしたり、注意を促したりする機会を設けました。“大切に”“優しくね”ということがどういうことなのか理解する事は難しい事なのかもしれませんが、実際に植物をお世話する中で、少しずつ“大切にすること”が皆さんに伝わったのではないのかなと感じています。



実際の経験を積む中に様々な学びがあることを改めて感じました。第2 どんぐり工房では利用者さんや支援員からの「こんなことやりたい!」の意見を積極的に取り入れるようにしています。初めての取り組みは心配や不安もありますが、それよりもワクワクやドキドキの中に新たな発見が潜んでいる事も多いです。今後もみんなで実際に触れ経験する機会を提供していきたいです。
※7月29日に最初に色づいたミニトマトを収穫し施設長に贈呈しました!



第2 どんぐり工房 生活介護
チーフ 稲葉 ちひろ

社会を生き抜く行動指針

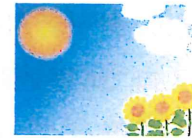
令和3年7月21日、岐阜県は、新型コロナウイルス感染症対策にあたり、これまで様々な経験を積み重ねてきた結果、コロナとの闘いは長期戦に亘る可能性が高いことを認識して、新しい日常、すなわち「コロナ社会」を生き抜いていかなければならないとした行動指針を示しました。

一つ目として、4つの習慣の義務付けであり、①人との距離確保、②マスク着用、③手洗、④自らの体調管理の徹底である。

二つ目は、高感染リスクから遠ざかることです。3つの密(密閉空間・密集場所・密接場面)が揃う場合は感染リスクが高いので注意をしなければなりません。

三つ目は、ワクチン接種された皆様へとして、2回目のワクチン接種より免疫がつくまでに12日間程かかり、発症予防効果は95%程度と高いものの、決して100%ではないということです。接種後も油断せずに「マスク着用」「手洗い・消毒」「三密のうち一つでも回避」「体調不良の時は行動ストップ」など、基本的な感染症対策の徹底になります。

しかしながら、私たちが日頃関わっている障害者の方に感染防止のための習慣の義務付けを徹底させることは簡単なことではありません。特に比較的障害の重い方にとっては、自ら感染防止策としての手立てが苦手であり、また利用者と支援員との密着度が信頼関係を高めていく基本になっています。だから私たち支援員がコロナ感染者にならないための行動指針を私生活においてもより注意をしていかなければなりません。



当法人では、6月22日と7月13日に共同生活援助(グループホーム)入居者10名及び従事者14名の同時接種を無事終了しました。居住施設として高齢者及び障害者入所施設と同等の接種順位によるものです。そして、通所事業所であるどんぐり工房でも、7月15日に利用者及び従事者を含むほぼ全員にワクチン接種の1回目を実施、8月5日が2回目になります。また7月末までに法人従事者のPCR検査も依頼済みです。

施設従事者として大切なことは、支援員自らが新型コロナ感染防止のための行動指針を理解・実践していくことが問われています。

令和3年7月

指定障害福祉サービス事業所 どんぐり工房

施設長 志水 利保



令和3年7月1日

令和2年度(令和3年度事業)共同募金配分事業完了報告

この度、社会福祉法人岐阜県共同募金会様より、令和2年度共同募金配分事業として採択していただきました事業が完了しましたので、ここに報告させていただきます。

記

1. 配分事業名 感染予防及び利用者の福祉向上のための備品整備事業
2. 事業費総額 金 203,390 円
3. 配分金額 金 200,000 円
4. 事業の概要 (機器整備及び物品購入)

①スクールロッカー(利用者用靴入れ:24人用) 1台

②除菌電解水給水器専用電解補助液(10ℓ) 3個

5. 事業の実施期間 令和3年4月1日～令和3年6月30日

6. 実施成果

施設移転して10年が経過、利用者が開設当時と比較して約3倍近くに増員となり、利用者用靴入れが不足する状況になっていましたが、今回の整備により玄関入口での送迎時の移動がスムーズに進むようになりました。また、新型コロナウイルス感染対策として、日々全施設内除菌作業を実施していますが、除菌効果が発揮できる電解水給水器専用の電解補助液が用意されましたので、安心して清掃に取り組むことができます。

ありがとうメッセージ

この度は、赤い羽根共同募金の配分を賜り、誠にありがとうございました。

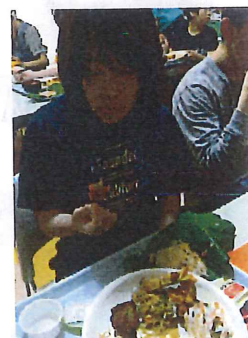
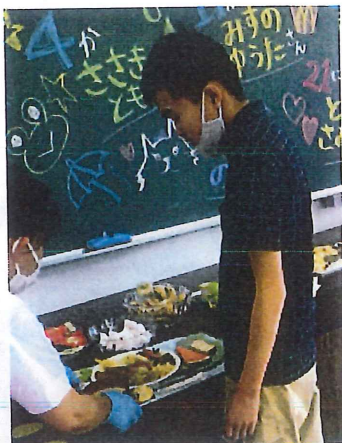
当事業所は、大幅な利用者増に伴う障害種別の多様化により、利用者の通所及び退所時の混乱を軽減するために、出来る限り、密集状態を回避することを心掛けていますが、今回の靴入れロッカーの増設により、スムーズな利用者移動が可能になりました。また、新型コロナウイルス感染対策に最も必要となる除菌電解水給水器専用電解補助液のストックが可能になり、日々安心して除菌効果を高めていくことができます。

皆様方の温かい善意に感謝し、大切に使用させていただきます。

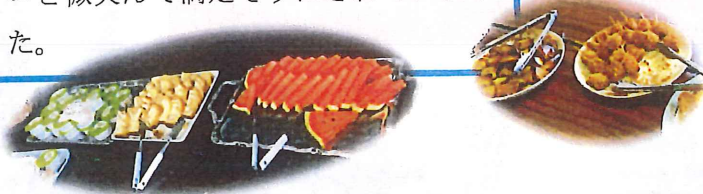
本当にありがとうございました。



6月 バイキング



6月7日の給食はバイキングでした！
だんだん暑くなってきましたが、皆さん
食欲はバッチリ☆
バイキングが初めての新しい利用者さ
さんも、戸惑ったりすることなくニコニ
コと微笑んで満足そうにされていました。

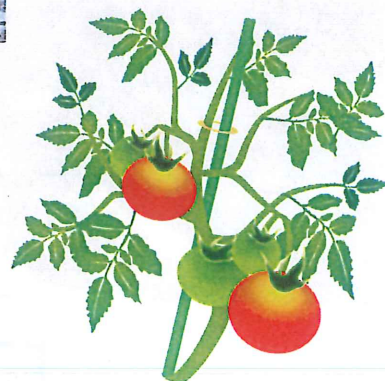




家庭菜園作り

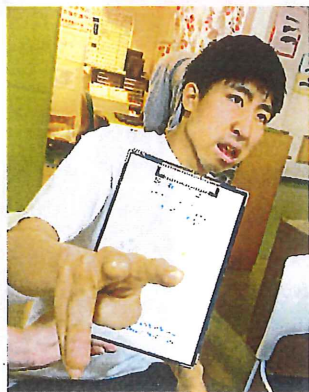


第2 どんぐりのみんなで
ミニトマトとイチゴの苗をプランターに
植えました！



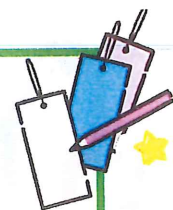
早く大きくなってね～

毎日“今日のお世話係さん”が支援員と一緒に水をあげて、
成長記録を書いています。たくさんの実がなると良いですね☆





7月5日、七夕の飾り付けをする七夕会を行いました！
利用者さんや職員みんなに書いてもらった短冊や、
利用者さんと笹飾りを作って一緒に飾り付けをして
綺麗な七夕飾りを作る事ができました。
短冊には利用者さんの個性豊かな願い事が書かれていました♪



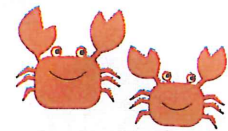


楽しい余暇活動♪



梅ジュース作りをしました！
(第2 どんぐり・生活介護)

買い物実習で自販機アイスやジュース、
ドライブスルーでお買い物をしました☆
(陶・生活介護)



編集後記

7月中旬に梅雨も明けて、いよいよ夏本番になってきました。みなさんオリンピックは楽しんでますでしょうか？私はテレビに夢中になっています！

この夏、どんぐり工房ではコロナウイルスのワクチン接種が行われ、多くの利用者さんが2回の接種を終えました。まだまだ変異体など油断は出来ませんが、少しはコロナに対する不安を和らげるきっかけになるかもしれません。収束に向かうことを祈ります。

また、今年も支援学校からの実習生の受け入れを行い、今年度からどんぐり工房に通所を始めた利用者さんは、久しぶりに支援学校の先生と再会されました。作業をされる姿を見た先生方から、「なんだか大人っぽくなったね」と褒められる利用者さんもいて、支援員としては頑張ってくれて本当に嬉しく思います！

私も利用者さんに負けないようにと、改めて気合が入りました。今年も暑い夏になりそうですが、日々頑張っていきたいです。

生活支援員 佐藤礼佳